

中野市国民健康保険事業の運営に関する協議会 会議録

日 時	令和 8 年 8 月 20 日（木） 13：25～14：20
会 場	中野市役所 5 階 会議室 51
出席者	【委員】 酒井委員、古川委員、池田委員、北村委員、飯田委員、南谷委員、畔上委員、夏目委員、矢野委員、岸田委員、坂口委員、浅野委員、仁科委員、岩下委員 【市（事務局）】 くらしと文化部長、市民課長、国保年金係長、国保年金係員、健康づくり課健康管理係員、高齢者支援課介護予防包括支援係員
欠席者	山口委員、神戸委員
次第	1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 （1）中野市国民健康保険事業の運営状況について （2）令和 7 年度中野市国民健康保険事業特別会計決算について （3）中野市保健事業実施計画等について （4）中野市高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業について 4 その他 5 閉会
資料	資料 1 中野市国民健康保険事業の運営状況について 資料 2 令和 7 年度中野市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について 資料 3 中野市保健事業実施計画等について 資料 4 中野市高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業について

1 開会

(市民課長)

2 あいさつ

(くらしと文化部長)

(酒井会長)

3 協議事項

○議事録署名委員の指名

会長から、池田委員、坂口委員が指名された。

(1) 中野市国民健康保険事業の運営状況について (資料1を説明)

【委員】

① 2 ページ 2 (1) 一人当たりの医療費の推移について、令和4年度と令和5年度で、医療費が極端に動いた要因は何か。

② 7 ページ 4 (2) 基金保有状況について、基金の活用法は何かあるのか。

【事務局】

①について 急激に医療が上がった要因については調査して、後日、委員あてに回答させていただきます。

②について 災害等の非常時や伝染病などで、医療費が急激に増大した場合に備えて積み立てている。今後も、すぐに処分などは考えていないため、非常時に備えることとしていく。

【委員】

2 ページ 1 (3) 階層別被保険者数割合の推移のグラフの年齢区分について、この区分けにする特別な理由があるのか。6 ページの3 (3) 中野市の税率の推移に『18 歳未満』を対象としているため、整合性を取ったほうがわかりやすくなるのではないかと。

【事務局】

保険制度上、65 歳から 74 歳は前期高齢者の区分となる。負担割合の変更はないが、前期高齢者に切り替わるため 64 歳と 65 歳で分けている。未就学児については、負担割合が変わるため分けている。今後、新制度に合わせて、18 歳未満の区分を入れるか検討してみる。

(2) 令和7年度中野市国民健康保険事業特別会計決算について (資料2を説明)

質疑なし

(3) 中野市保険事業実施計画等について (資料3を説明)

質疑なし

(4) 中野市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について (資料4を説明)

【委員】

訪問指導の際の、自己決定や来てもらいたくないなど、トラブルや苦勞していること、改善方法など含めて教えてほしい。

【事務局】

高齢者の方のそれぞれの生活習慣や人生の価値観があるため、こちらが保健指導に基づく改善を持ち掛けても生活を変えるのはとても困難で、拒否される。関わり方が難しい。健康づくり課の職員と苦勞しながら個別にあたっている。

4 その他

【事務局から】

- 県の保険料水準統一のスケジュール等について
- 県の国保運営協議会委員研修会の参加について

5 閉会

終了 14 時 20 分